

## 平成23年度草の根・人間の安全保障無償資金協力署名式典

2月14日（火）、平成23年度草の根・人間の安全保障無償資金協力署名式典が当館多目的ホールにて執り行われ、黒木雅文特命全権大使とICS-PPのエリザ・リケ・コッネギュラ現地代表が、「コンポントム州タンクラサン上水道拡張計画」（供与限度額：59,734米ドル）案件の贈与契約書に署名を行いました。

コンポントム州州都から約25km離れたサントウック郡プラサート地区に位置するプラサート村とトライミヤーブ村は、浅井戸から汲んだ地下水や大甕に溜めた雨水を飲料水として利用していましたが、乾季には浅井戸の水位が下がり大甕の雨水も無くなるなど年間を通して安定して水を得ることが困難な上、衛生的な飲料水が手に入りにくいいため、腸チフスなどの感染者が後を断ちませんでした。本事業を通して、被供与団体が技術協力で行っているタンクラサン水道局管轄の上水道を同2村まで拡張し、保健衛生マニュアルを村内の各家庭に配布、保健衛生トレーニングを実施し、約450世帯2,100人の村人の安全な水のアクセス改善を可能にします。

式典では、黒木大使がスピーチを行い、これまで日本政府がカンボジア国内の都市部と農村部における上水道施設の改善を行ってきたことを紹介、本事業がICS-PPによって円滑に実施され、タンクラサン水道局と村民が適切な維持管理を行うことを期待すると述べました。続いて、エリザ・リケ・コッネギュラ現地代表が、日本国民及び政府への感謝の意を表明し、EU、イタリア、ベルギー、アメリカ及び韓国の技術・資金協力でサントウック郡内11村で実施されてきたタンクラサン水道局の上水道整備が、本事業で日本の協力を得てさらに2村に拡大されることを大変嬉しく思うと述べました。

